

発見! 素敵なた横顔

別科助産専攻新任教員

教授：峰岸まや子

4月1日付で別科助産専攻の教授に着任しました峰岸まや子です。

今までの災害救護経験（御巣鷹山日航機墜落事故・伊豆大島全島民避難・東日本大震災）や JICA のシニアボランティアとしてエジプトで行った大学病院での院内教育、また国における看護政策等決定の場での体験を基にいろいろな観点から助産学について、学生たちとともに考えていきたいと思っています。平成 20 年 4 月からはじまった別科助産専攻も今年で 6 年目となります。前任の先生方が築かれた伝統をさらに発展できるよう、そして「ベッカーズ 6」と皆様に愛されるよう、微力ながら頑張っています。

まだまだ駆け出しのベッカーズ6ですが、これからもご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



講師：大城すぎの

好きなこと：美味しい物を食べること、
映画鑑賞

今年4月に新しく別科助産専攻の講師として着任しました。講義に追われる毎日ですが、希望に満ちてキラキラした眼差しの学生と一緒に学ぶ楽しさを感じています。また改めて助産師の専門性の深さに気づき、講義する私も身が引き締まる思いです。後期は実習が続きますが、妊・産・褥婦さんとの関わりを通して学生に助産の楽しさを伝えられたらと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



講師：中原芳子

茨城県つくば市から来ました。今は時間も精神的な余裕は全くありませんが、学生達の清々しさに刺激を受けて、私も頑張らなくちゃと奮起している状況です。

今まで沖縄県のことはほとんど知らなかったのですが、街並みやお店や、お惣菜など、生活の場面ではいろいろな体験が新鮮で面白いです。実は暑いのがとっても苦手で、これからくる沖縄の夏に恐れおののいているのですが、沖縄だからこそその夏の楽しみ方があるのかなと少し前向きになってきました。ドライブが好きで、運転は全く苦になりません。スポーツは、やるのも観るのも好きです。貢献できる教員になることと、沖縄を楽しめる人に早くなる、というのが今の目標です。



退官記念最終講義

精神保健看護 當山富士子教授 「沖縄戦による心の傷あと」

精神保健看護 講師：大川嶺子

當山富士子教授の最終講義が3月22日に行われました。當山先生は開学当初から本学の教育にご尽力くださり、特に沖縄戦体験者の精神保健について継続的に研究して来られました。

當山先生は、終戦から67年目の昨年(平成24年)、沖縄戦を体験した75才以上の高齢者を対象に調査を行った結果から、その4割がPTSDを起こす可能性が高いと報告されました。PTSDとは、怖い思いをした記憶が心の傷となり、そのことが何度も思い出されて恐怖を感じ続けることです。戦争を体験した高齢者は、テレビや新聞での基地関連の報道だけでなく楽しい祭りの花火からも、恐怖や不安を伴って戦争での体験を思い出すとのことでした。

當山先生は、現在も続く沖縄戦による心の傷あとを意識した高齢者の心のケアの大切さを強調しておられました。先生は退職後もこの研究を続けられるとのことですので、今後のご活躍が期待されます。また、精神保健に携わる後輩としましても、沖縄戦の影響を意識した高齢者への対応を受け継いでいきたいと考えています。

